

料金後納郵便
OFFICE HARMO INC.

ゆうメール

お仕事、家庭、いろんな場所で、「きっと役に立つ情報?!」をお届けします!
喜田菜穂子の季刊誌 ハーモマガジン 25 春号 「人を育てる③」
改めて「主体的に生きる自立力」を考えてみました!

各地で桜が満開!

我が家では、蝶々の飼育が趣味の主人は、幼虫に餌をあげるため、餌の調達に忙しい日々が訪れています。
「生涯の趣味がある人は幸せだな～」と実感している今日この頃ですが…。プライベートはさておき、皆さんの会社や部署にも新入社員を迎え、フレッシュな彼らがどう育っていくのか、これも楽しみですね…。今回から「主体的に生きる自立力」の育て方の本題に入っていきます。

■自立って何?

まずはおさらいですが、自立の定義(喜田菜穂子作成)を押さえます。

●「自立」とは

自らの人生や仕事において、「自分が選択しているという意識があり、その選択に責任を持っていること。」

●「自立した人」とは

一人ひとりが自分で考え、壁を乗り越える力を身につけていること。何か問題が生じたとき、他人への責任転嫁(他責)ではなく、つねに当事者意識を持ってあたること。

●「成熟(自立)した組織」とは

組織自体に問題解決する能力があり、協働の雰囲気大切に、必要なときに改善に向けて話し合う力があること。一人ひとりの力が十分に発揮されていること。

こうなれば理想です。

そして、そうなるために、これらの「自立した人」と「自立した人たちで構成される自立した組織」を育てるために必要なスタンスとスキルを作成したものが、**自立型支援方法**です。

■自立型支援方法の詳細

1. 私は、「人はいつも最善を選択している」という前提で人と関り続けています。
2. 私は、自分の思い込みを一旦はずし、そのままの相手をしっかり受け止めています。
3. 私は、相手が尊重されていると思う聴き方をしています。
4. 私は、相手の中の答えを、効果的な質問で引き出しています。
5. 私は、評価的な表現でない言葉で相手を承認、認知しています。
6. 私は、コミュニケーションの意図について、いつも意識を向けています。
7. 私は、自分の成功体験、情報を押し付けにならないように提案しています。
8. 私は、「他人の能力、可能性は決められない」ことを知っています。

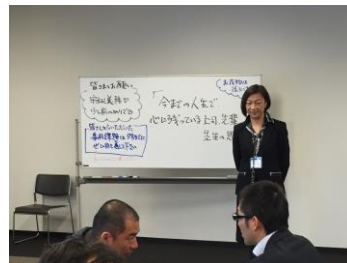
9. 私は、過去と他人は変えられない、人はみな違う(人は見たいように見るし、聞きたいように聞く)事を、知っています。
10. 私は、人間関係を破壊する7つの習慣を使わないように意識しています。
①批判する ②責める ③がみがみ言う ④文句、苦情を言う ⑤罰する ⑥脅す ⑦コントロールするために褒美でつる
11. 私は、信頼関係を構築するためにいつも安心感のある安全な場を作り出しています。
12. 私は、相手を常に勇気付け、責任を取る権利を奪いません。
13. 私は、失敗したと感じることも、常に学びの種に変えています。

■立派な人にならなくてもいいのです!!

こうして見ていくと、「こんなことなかなかできないな～」と最初、ため息をつかれる方が多いのですが、決して人間力を高めることでもなく、良い人になるための指針でもありません。ただ、自分が、指導する立場や、育てる役割になった時、自立した人や自立した組織になってほしいと望むのなら、それを得るために、このようなスタンスやかかわりの方が近道だ!とお伝えしたいのです。

そしてもう一つ、10年以上のこの指導経験から、このかわりを実践すると、**育てる側の自立も**、気が付けばしっかりと根付くことがわかりました。おかげさまで、叱り方検定がメディアでも話題になりましたが、叱る目的も究極は相手の自立。会得していくにつれ腑に落ち、究極は、自分自身のスタンスの大切さだと気付いていくのです。

次回からは、実際に自立を育てる「自立型支援方法」の一つ一つを紐解いてお送りします。



オフィスハーモでは、人材育成のための「効果的な研修を提供しております。参加者の方々のお悩みをすべて取り上げながら現場で役に立ち、結果が出るような仕組みもございますので、お気軽にご連絡ください。

お読みいただきありがとうございました。

今回は、私の友人からの相続手続き支援の情報もお送りしたいと思います。家族がもしものことになった時、頼りになるのは会社の上司の皆さんだとよくお聞きします。是非お役立て下さい。

引き続き、効果的な叱り方についてのDVDを販売しています。少しでも多くの方に知っていただくために、お求めやすい価格ですので、どうぞ、皆さまのお仕事、子育てなどにお役立て下さい。(叱り方検定も是非一度体験してください！内容は即現場で行かせる体験型です)

また、忘れた頃にお届けするような形になるかもしれませんが、またこうして片思いでもご縁が繋がることをうれしく思います。バックナンバーをご希望の方や、万が一ご不要の場合も、下のメッセージシートにご記入いただきFAXいただくか、メール(naho@k.email.ne.jp)をいただけますよう、お願いいたします。

お読みいただき、ご意見感想などもいただけましたら、今後に反映していきたいと思っております。

いつでもお待ちしております。

感想

お名前	もしよろしければ連絡先を！(mail・FAX・ご住所など)
-----	-------------------------------

ありがとうございました。

～当事者意識と考える力を育てる方法～

研修、講演会のご相談お受けします。

(有)OFFICE HARMO 代表
NPO法人マザーズサポーター協会理事長
喜田菜穂子

naho@k.email.ne.jp 080-4393-4255



「叱る」を通して部下を育てる



- ✓ 叱るために、上司の意識で大切な3つのポイント
- ✓ 事例を基にした「悪い叱り方」「良い叱り方」のシミュレーション
- ✓ 叱り方の9つの留意点

などをセミナー形式で、わかりやすく解説しています。「叱る」と「怒る」は違います。本来の叱る目的を認識し、部下を育てていくためにぜひ活用してください。